季刊 かばごん 2006 冬(No37)

この号を出す予定がずいぶんと遅れてしまいました。インフルエンザの特集にしようと思い、資料を読み集めたのですが分からないことだらけでした。医療を専門にしている小生がこうなのですから、一般の皆様は、もっとどうしてよいか分からないのではと推察します。インフルエンザは昨年末から流行の兆しはありましたが、学校や幼稚園がはじまって、徐々に罹患者が増えています。とにかく、現時点で分かっていることを皆様にお伝えせねばという思いで、書き始めました。新型インフルエンザが今にも出現するとのことで戦々恐々とした毎日ですが、いたずらに恐れることなく、また軽んずることなく来るべき日に備えていこうと思います。「敵を知り、己を知れば百戦危うからず。」と言います。冷静に正確な情報を集めることからはじめましょう。

[インフルエンザウィルスのこと]

内部タンパク質の抗原性によって、A・B・C 型に分類されます。この内ヒトに病原性があるのは、A と B です。A 型はその粒子の表面にヘマグルチニン（HA）とノイラミニダーゼ（NA）という糖タンパク質があり、血清学的に 15 種の HA と 9 種の NA 亜型があります。1977 年以降、ヒトの間で流行をくりかえしている HA 亜型は HI（HIN1,ﾛｼｱ型）と H3（H3N2, 香港型）です。人類は 20 世紀に 3 回のインフルエンザパンデミック（大流行）を経験しています。すなわち、1918 年のｽﾍﾟｲﾝｶｾﾞ（H1N1）、1957 年のｱｼﾞｱｶｾﾞ（H2N2）、1968 年の香港ｶｾﾞ（H3N2）です。その後は流行の大小はありますが、新型は出現せず、約 40 年近くになります。

[人畜共通感染症としてのｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ]

インフルエンザ A ウィルスはヒトを含む哺乳動物と鳥類に広く感染しています。なかでも、カモなどの野生の水禽類はインフルエンザウィルスの自然宿主です。ヒト、家禽と家畜のインフルエンザ A ウィルスの遺伝子はすべてカモのウィルスに由来します。カモが排泄する非病原性ウィルスは他の水禽類に水系伝播し、ウズラ、シチメンチョウ、ガチョウなどを経てニワトリに感染します。ニワトリ集団内で感染をくりかえす間に強い病原性を獲得したものが高病原性鳥インフルエンザです。

一方、ブタの呼吸器上皮細胞にはヒトのウィルスに対するレセプターと鳥類のウィルスに対するレセプターもあるので、両方に感染します。ヒトのウィルスとカモのウィルスがブタに同時感染すると両ウィルスの遺伝子再集合体が生じ、その中で、カモのウィルスに由来する HA 遺伝子を持ち、ヒトに伝播する性質をもつものが、新型ウィルスとなります。すなわち、H1~H15 のいずれの HA 亜型の鳥由来インフルエンザも新型ウィルスになり得ます。

[昨シーズンのインフルエンザ]

昨シーズンは過去 10 年で最大の流行でしたが、A 型よりも B 型が主流でした。これは例年と違い特異的なことでした。さらに、流行がダラダラ続き、6 月に入ってもみられました。全国的には夏になっても、沖縄、兵庫、奈良で A 香港型が検出されました。

[インフルエンザが怖い理由]

小児の脳症や高齢者の肺炎が致命的な病態です。

インフルエンザ脳症とはインフルエンザウィルス感染症を契機に生ずる急性脳症です。わが国では毎年、流行規模によって、百～数百人が罹患し死亡率 15 ～ 30 %、生存者の約半数に神経学的後遺症があります。年齢的には 1 才をピークに 6 才未満に集中していますが、成人の報告もあります。A 香港型に多いとされています。

インフルエンザ肺炎はやはり A 型に多くみられますが、全体で 1 ~ 5 %、65 才以上で 20~25 %の合併があります。最重症のものは、原発性ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞｳｨﾙｽ肺炎という病型でウィルスそのものによる肺炎です。多くの症例で低酸素血症を呈し急激な呼吸不全の進行により死に至ることも多いものです。新型インフルエンザが流行するとこの状態による死者がふえることが予想されます。

[ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞｳｨﾙｽ感染症の診断]

突然の高熱と咳などの気道症状のある感染症はｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞのほかにﾗｲﾉｳｨﾙｽ・RS ｳｨﾙｽ・ﾋﾄﾒﾀﾆｭｰﾓｳｨﾙｽ・ﾊﾟﾗｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞｳｨﾙｽなどがあります。RS ｳｨﾙｽやﾋﾄﾒﾀﾆｭｰﾓｳｨﾙｽの臨床症状は乳幼児ではｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞと酷似しています。近年、ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞの診断に迅速診断検査ｷｯﾄが普及し正確な診断を下せるようになりました。ただし、発症後数時間以内では偽陰性がみられ、再検査が必要になることもあります。検体は鼻咽腔吸引液が最適ですが、便宜的に鼻腔拭い液を使用しています。

[ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞの治療]

A・B 両型に有効なのはﾉｲﾗﾐﾆﾀﾞｰｾﾞ（NA）阻害剤です。NA は前述のように A・B 両型の粒子表面に存在する膜タンパク質で細胞内で増殖したウィルスが細胞外へ遊離する際に働きます。NA 阻害剤には経口剤のｵｾﾙﾀﾐﾋﾞﾙ（タミフル）と吸入剤のｻﾞﾅﾐﾋﾞﾙ（リレンザ）があります。B 型については効果がやや劣るようです。A 型については 48 時間以内の内服または吸入により 30 時間前後で解熱します。

A 型のみに有効な薬剤にｱﾏﾝﾀｼﾞﾝ（シンメトレル）があります。A 型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞｳｨﾙｽのみに存在する M2 タンパク質の機能を阻害します。ただし、ｱﾏﾝﾀｼﾞﾝは耐性ｳｨﾙｽが出現しやすく、新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞに対しては効果が疑問です。また、もともとは抗ﾊﾟｰｷﾝｿﾝ病治療剤であるため幻覚などの精神症状が起こりやすく使いにくい薬剤です。

わが国のタミフル使用量は世界の 7 ～ 8 割に達しており、その効果とともに副作用についても論議されています。特に昨年はタミフル服用後異常な興奮、幻覚や異常行動がみられたという報告がありました。インフルエンザそのものによる症状も考えられタミフルとの因果関係については未だはっきりしていませんが、万が一に備えて服用後 2 ~ 3 時間は厳重な観察が必要です。また 1 才未満の乳児・妊婦・授乳婦への投与は原則的にすすめられません。

その他の注意事項としては、インフルエンザに罹患した場合の解熱剤はアセトアミノフェン（経口剤ではｶﾛﾅｰﾙ・ｺｶｰﾙ等、坐剤ではｱﾙﾋﾟﾆｰ・ｱﾝﾋﾊﾞ等）のみが安全です。

お知らせ

☆毎週木曜日午後は、うきた病院で小児科を担当していますので当院は休診です。

☆大手町の夜間急病診療所（TEL:222-0099）では午後7時から午前0時まで、小児科と内科の診療を年中無休で行っています。私の担当は2/9、3/12の予定です。

☆小児科医による休日夜間の電話相談が実施されています。相談内容については、子どもの急な病気に関する相談に限られます。慢性疾患や、育児に関する相談ではありません。時間は土・日・祝日・年末年始（12/29～1/3）午後6時～午後11時です。電話番号は 076(238)0099、ﾌﾟｯｼｭ回線、ISDN回線では「＃8000」でもつながります。

☆御影橋は架け替え工事中です。川沿いの道路は芸術村方面から御影大橋方面への一方通行ですが、工事中は交通整理員の指示に従ってください。

季刊

かばごん

2006 春 (No.38)

ついに当院のホームページができました！約１年前にホームページビルダーという作成ソフトを購入し少しずつ書き始め、途中で挫折しかけたことも何度かありましたが、この４月１日に全面公開することができました。今流行のブログにもリンクしてありますのでリアルタイムに医院の情報を皆様にお伝えできると思います。今、うぶごえを上げたところのこのホームページが大きく育ってくれることを願っています。一方通行ではなく、メールによる皆様からのご意見も伺いたいと思っています。どうぞご遠慮なくご意見をお聞かせください。
下記にURLを記載しますので一度お訪ねくださいね。

かばた医院のホームページ　http://www2.nsknet.or.jp/~dr.kbt/

[最近目立つ病気]

昨年末からの雪かきの連続で、本当に長く感じた冬でした。桜の蕾がふくらみはじめた頃にも寒の戻りがあり、４月に入ってようやく春らしくなってきました。

インフルエンザは１月中旬から流行の兆しがあり、２月・３月と流行が続きましたが春休みになってほぼ終息しました。A 香港型が主流で A ソ連型もみられたため A 型に２度罹患した方もいらっしゃいました。昨シーズンに猛威をふるった B 型は春先にわずかにみられた程度でした。

ウィルス性胃腸炎は昨秋からずっと流行を繰り返しています。ノロウィルスなどのいわゆる小型球形ウィルスとロタウィルスが主な原因です。

溶連菌感染症が大流行しています。発熱・咽頭痛・発疹・嘔気・腹痛等が主な症状ですが、微熱程度で消化器症状が目立つときは前述のウィルス性胃腸炎との鑑別が難しいことがあります。咽頭所見が判断のめやすになるのですが、溶連菌の迅速検査をしてみないと確定診断ができないことが多いです。

おたふくかぜは昨年来長い流行が続いていましたが、ようやく下火になってきたようです。

水痘はだらだらとみられます。おたふくかぜや水痘はワクチン接種でほぼ予防できるので、任意接種ですが集団生活がはじまる前に受けられた方がよいと思います。特におたふくかぜは合併症として難聴がありますので予防接種で免疫をつけておくべきです。

伝染性紅斑も少しみられます。まだ春ですが、ヘルパンギーナ様の夏かぜも見られ出しました。

咳の長びく人も目立ちます。気管支喘息のようなアレルギー症状の方も見られますし、RS ウィルスやマイコプラズマ等の感染症の方も見られます。２～３週間以上続く咳や、高熱を伴う頑固な咳は胸部レントゲン撮影が必要です。

これから新学期がはじまるとともに、いろいろな病気が流行しだします。うがい・手洗いの励行、ハンカチ・タオルは自分のものを使うこと、規則正しい生活をすること、特に睡眠を十分とること、バランスのとれた食事を楽しむこと。といった基本的な生活習慣が重要です。

[ホームページのこと]

自分でホームページを作ってみての感想を書いておきます。

私はホームページビルダーというソフトを利用したのですが、本当にワープロ感覚で作成できてすごいことだと思いました。HTML なるものを知らなくても大丈夫です。これは、車のメカニックなことを知らなくても運転できるのと同じことです。

サーバーにアップロードする際にファイル名には英数字しか使わないことと空白（スペース）をいれないことが重要です。

当院のホームページはブログにリンクしています。ブログの QR コードは下記の通りです。

ブログの題名は「照一隅」としました。この言葉は私が大阪摂津市の千里丘協立診療所を退職した際に所長が、はなむけとして送ってくださったものです。難しいことは分かりませんが、なんとなく気に入っています。文末は「天台宗・一隅を照らす運動総本部」のホームページから抜粋したものです。ご参考までに。

お知らせ

☆毎週木曜日午後は、うきた病院で小児科を担当していますので当院は休診です。

☆大手町の夜間急病診療所（TEL:222-0099）では午後7時から午前0時まで、小児科と内科の診療を年中無休で行っています。私の担当は4/13、6/1、6/29の予定です。

☆小児科医による休日夜間の電話相談が実施されています。相談内容については、子どもの急な病気に関する相談に限られます。慢性疾患や、育児に関する相談ではありません。時間は土・日・祝日・年末年始（12/29～1/3）午後６時～午後11時です。電話番号は 076(238)0099、ﾌﾟｯｼｭ回線、ISDN回線では「＃8000」でもつながります。

☆5月から10月まで「すこやか検診」を行っています。当院では基本検診、肝臓検診、前立腺癌検診、及び肺癌検診を担当しています。受診券をご持参の上、受付にお出しください。

☆御影橋はほぼ完成しました。周辺の整備が今年の８月末までかかります。事故の無きようご注意下さい。

☆待合室の大型ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｰにはいろいろな医療情報が放映されますので待ち時間にご覧ください。

『山家学生式』

国宝とは何物ぞ	国の宝とはなにか。
宝とは道心なり	宝とは、道を求めようとする心である。
道心ある人を	この道心をもっている人こそ、
名づけて国宝と為す	社会にとって、なくてはならない国の宝である。
故に古人の言わく	だから中国の昔の人はいった。
径寸十枚、是れ国宝に非ず	「直径三センチの宝石十個、それが宝ではない。
一隅を照らす	社会の一隅にいながら、社会を照らす生活をする。
此れ則ち国宝なりと	その人こそが、なくてはならない国宝の人である」と。
（中略）	
道心あるの仏子	このような道心ある人を
西には菩薩と称し	インドでは菩薩（ぼーさつ）とよび、
東には君子と号す	中国では君子（くんし）という。
慙事を己に向かえ	いやなことでも自分でひきうけ、
好事を他に与え	よいことは他の人にわかち与える。
己を忘れて他を利するは	自分をひとまず忘れて、まず他の人のために働くことこそ、
慈悲の極みなり	本当の慈悲なのである。

※『山家学生式』の冒頭部分より※

季刊

かばごん

2006 夏 (No.39)

今年の梅雨は本当に長く感じました。梅雨入りが 6 月 15 日（平年 6/10）、梅雨明けは 7 月 30 日（平年 7/22）、こうしてみると期間は平年並みですが降水量が多く広範囲に水害をもたらしました。平成 18 年 7 月豪雨という命名までされました。過去には、1993 年と 1998 年に梅雨明けがありませんでした。特に 1993 年（平成 5 年）は記録的な冷夏のため、いわゆる平成の米騒動が起きました。日本のお米よりも少し細長い、タイ米（ｲﾝﾃﾞｨｶ米）を食べた記憶があります。梅雨のｲﾒｰｼﾞはしとしと続く長雨ですが、梅雨明け直前は豪雨になることが多く、梅雨明け後 2 週間くらいは夏空が続くことが多いそうです。因みに、梅雨という現象は東アジアの日本、朝鮮半島、中国中部・南部で見られ、中国ではメイユー（梅雨）、韓国ではチャンマ（長霖）と言います。

[最近目立つ病気]

夏休みに入って、感染症は少なくなりました。

しかし、いわゆる夏かぜと言われる一群の風邪が目立ちます。この中には乳幼児に多く見られるヘルパンギーナ、手足口病が含まれます。

また今年はアデノウィルス感染症が大流行しています。一口にアデノウィルスといっても 50 種類近くのウィルス型があり、何度も罹患することがあります。いずれも高熱が出て、期間も３日から 1 週間近く続くことが多いのが特徴です。ただし、ウィルス型によっては、流行性角結膜炎や胃腸炎、出血性膀胱炎など、呼吸器系以外の感染症もみられます。

嘔吐・下痢などの胃腸炎症状をきたす風邪もみられます。ウィルス性胃腸炎は一般には寒い時期に多いのですが、最近は年中みられるようになりました。便の色が薄くなったりするのが特徴です。下痢が激しくても腹痛はそれほど強くないことが多いです。強い腹痛や粘血便が見られる場合は食あたりの可能性があります。ｶﾝﾋﾟﾛﾊﾞｸﾀｰ、腸炎ﾋﾞﾌﾞﾘｵ、ｻﾙﾓﾈﾗ、病原性大腸菌、黄色ブドウ球菌などが主な原因菌ですが、サルモネラや毒素産生型の病原性大腸菌（O157,O26 など）は重篤な合併症を併発することがあり要注意です。この季節、屋外でﾊﾞｰﾍﾞｷｭｰをすることも多いですがしっかりと火を通すことが大切です。賞味期限を過ぎた物や、生もの、生卵を食べないようにしてください。そして、いつも言うように手洗い、うがいが大切です。

気管支喘息や鼻炎、蕁麻疹といったｱﾚﾙｷﾞｰ疾患も長梅雨の影響からか目立っています。これらは、体質が大きく関与しているため予防はなかなかできませんが、風邪の一般的な予防や埃っぽいところには行かない、花火やタバコの煙を避ける、お布団の上で飛んだり跳ねたりしないといった事に注意してください。

[手足口病]

この面白い名前の感染症は、日本では 1967 年頃から認識されるようになりました。その名の通り手足口に発疹が出て、2 日前後の発熱を伴うこともあります。発疹は手足口の他に肘、膝、臀部、時に躯幹にもみられます。手足は手掌、足底の水疱が特徴的です。自然に軽快しますが、口内炎はとても痛いので食べなくなり、時には水分も摂らないことがあります。治療は対症療法のみで、鎮痛剤や水分もとれない場合は点滴を行うこともあります。

主な原因ウィルスはｺｸｻｯｷｰ A16 またはｴﾝﾃﾛｳｨﾙｽ 71 ですが、その他のｴﾝﾃﾛｳｨﾙｽでも起こると言われています。そのため、流行期には複数回の罹患もみられます。感染経路としては、経口、飛沫、接触のいずれでも起こり潜伏期間は 3 日前後です。ｴﾝﾃﾛｳｨﾙｽは全般的に主要症状消失後も３～４週間は糞便中にｳｨﾙｽが排泄されると言われています。しかし、長期にわたる出席停止は現実的ではなく、本人の全身状態が良好なら出席停止の必要はないとされています。

ごくまれに、髄膜炎、脳炎などの中枢神経系の合併症があります。病初期にぐったりして強い頭痛や嘔吐、高熱を伴う場合や、高熱が 3 日以上続く場合は要注意です。

おしらせ

☆毎週木曜日午後は、うきた病院で小児科を担当していますので当院は休診です。

☆大手町の夜間急病診療所（TEL:222-0099）では午後7時から午前0時まで、小児科と内科の診療を年中無休で行っています。私の担当は8/27, 9/24の予定です。

☆小児科医による休日夜間の電話相談が実施されています。相談内容については、子どもの急な病気に関する相談に限られます。慢性疾患や、育児に関する相談ではありません。時間は土・日・祝日・年末年始（12/29～1/3）午後６時～午後11時です。電話番号は 076(238)0099、ﾌﾟｯｼｭ回線、ISDN回線では「#8000」でもつながります。

☆5月から10月まで「すこやか検診」を行っています。当院では基本検診、肝臓検診、前立腺癌検診、及び肺癌検診を担当しています。受診券をご持参の上、受付にお出しください。

☆御影橋はほぼ完成しました。周辺の整備が今年の８月末までかかります。事故の無きようご注意下さい。

☆待合室の大型ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｰにはいろいろな医療情報が放映されますので待ち時間にご覧ください。

☆ホームページご案内

URL http://www2.nsknet.or.jp/~dr.kbt/

☆詳細は後日お知らせしますが、10月21日（土）午後に10周年記念講演会を予定しています。講師には久留米市の聖マリア病院副院長 橋本武夫先生をお招きする予定です。ご期待ください。

季刊

かばごん

2006 秋 (No.40)

お陰様で当院も 10 月 26 日で 10 周年。本当に早いものです。10 年一昔と言いますが、時の流れが年々速くなり、IT 産業の分野では２年も経てば古くなってしまいます。この間社会情勢も随分変化しました。幼児虐待、高齢者虐待、ﾄﾞﾒｽﾃｨｯｸﾊﾞｲｵﾚﾝｽ、行き着く果てが子殺し、親殺し、配偶者殺し、これらの記事で新聞の社会面が埋め尽くされてしまいます。何ともやるせない世の中になってしまいました。このような家庭の崩壊はどうして起こったのでしょうか？日本中の誰もが、昔はこんな世の中じゃなかったと立ちすくんでいるのではないでしょうか？何が悪かったのかは、いろいろと考えられますが、敢えて言えば、一番の問題は家族の団欒がなくなったことだと思います。折角の団欒もテレビに邪魔されて形だけのものになっているかもしれません。物質的に得た物は大きかったですが、精神的に失った物はもっと大きいです。

[最近目立つ病気]

真夏日が続いた 8 月が終わり 9 月に入って急に涼しくなりました。咳の続く人が目立つようになり、その中に喘鳴・呼吸困難などの気管支喘息症状を呈する人がおられます。例年、秋の喘息シーズンは 10 ～ 11 月ですが、今年は早いような感じです。

感染症としてマイコプラズマや気道感染ウィルスが流行しており、それがきっかけとなっている人も多いようです。咳の続く人に血液検査をすると、ダニやハウスダストのアレルギーが見つかることが多く、風邪ひきがきっかけでひどい呼吸困難を起こすことがあります。寝る前に布団の上で跳んだりはねたり、でんぐりがえしや枕投げをしたりすると夜間の咳込み、ゼーゼー、呼吸困難の原因になりますので、布団の上で遊ぶのは絶対にやめましょう。

乳幼児のウィルス性胃腸炎はずっとみられています。便が白っぽくなるのが特徴です。高熱などの症状はなくロタウィルスではないと思います。

大流行していた溶連菌感染症は沈静化しましたが、これから寒くなると増えてくると思います。

おたふくかぜは散発程度です。

長びく風邪はアデノウィルス感染症の可能性があります。プール熱とも言われるアデノウィルス感染症は今年は特に多いです。

手足口病は局地的に流行中です。感染期間が長いので集団の中で一旦流行すると、ほぼ全員が罹患します。

[虫の話　２話]

最近身近にあったことです。アメリカシロヒトリが大発生していると新聞で見ましたが、9 月の初めに当院前川沿い道路の桜の木の 1 本から黒い大きな毛虫がポトポト落ちてきて、民家に向かって大行進をはじめたのでした。金沢市に連絡すると駆除の業者さんが来てくれましたが、アメシロではなく、クロモンシャチホコという蛾の幼虫とのことでした。桜の木を好み、８～９月になると地面に落ちて、落ち葉の裏や土中で蛹になるそうです。土を求めての大行進だったのですね。

9 月中頃、当院駐車場に面した壁面に蜂の巣が見つかりました。よくぞここまで大きくなったと感心するほどのフタモンアシナガバチの巣でした。蜂は夏から秋にかけて活動的になるそうです。攻撃的なスズメバチとはちがい、アシナガバチはこちらからしかけない限り刺すことはないということですが、蜂の巣の駆除は専門業者さんに任せました。発見したその日の昼休みに約 20 分ほどで処理できましたが業者の方もマスクをつけ、白い防護服を頭からすっぽりと着て、刺されないように薬剤散布後に巣を除去していました。ご来院の皆様に被害がなくて本当によかったです。

蜂に刺されるとｱﾅﾌｨﾗｷｼｰ（ｱﾚﾙｷﾞｰの重症状態）を起こし生命の危険もあります。1 回に 10 カ所以上刺された時や過去に刺され感作されて 2 回目以降に刺された場合が要注意です。スズメバチだけでなく、アシナガバチやミツバチでも起こり得ることですので注意が必要です。とにかく、蜂の巣を見つけた場合は近づかないこと、蜂を追い払わずにそっと逃げること、黒い服着用時は特に要注意です。洗濯物を取り込む時は蜂がくっついていないか確認することも必要です。ｱﾅﾌｨﾗｷｼｰは刺された後 15 分以内に起こりますから頭痛、めまい、ふらつき、呼吸困難、意識低下などがあれば、ただちに救急車で総合病院への受診が必要です。因みに蜂に刺されることが一年で一番多いのが、8 ～ 9 月だそうです。

[10 周年記念講演会]

10 周年を記念して、下記のとおり講演会を行います。講師は私の恩師であり未熟児・新生児を専門とし育児指導やその他の小児科領域でも幅広い知識と実地診療に裏付けられた経験をお持ちの先生ですので、皆様方のご参加をお待ちしています。

講師：橋本武夫　先生
（聖マリア病院　副院長）
日時：10 月 21 日（土）
午後２時～４時
場所：金沢勤労者プラザ
３０４・３０５研修室
詳しくは院内の掲示物・ホームページをご覧になるか、スタッフにお尋ねください。

お知らせ

☆毎週木曜日午後は、うきた病院で小児科を担当していますので当院は休診です。

☆大手町の夜間急病診療所（TEL:222-0099）では午後7時から午前0時まで、小児科と内科の診療を年中無休で行っています。私の担当は9/24,10/29,11/26 12/21の予定です。

☆小児科医による休日夜間の電話相談が実施されています。相談内容については、子どもの急な病気に関する相談に限られます。慢性疾患や、育児に関する相談ではありません。時間は土・日・祝日・年末年始（12/29～1/3）午後６時～午後11時です。電話番号は 076(238)0099、ﾌﾟｯｼｭ回線、ISDN回線では「＃8000」でもつながります。

☆10月末まで「すこやか検診」を行っています。当院では基本検診、肝臓検診、前立腺癌検診、及び肺癌検診を担当しています。受診券をご持参の上、受付にお出しください。

☆御影橋はほぼ完成しました。周辺の整備が今年の12月上旬までかかります。事故の無きようご注意下さい。

☆待合室の大型ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｰにはいろいろな医療情報が放映されますので待ち時間にご覧ください。

☆ホームページご案内

URL http://www2.nsknet.or.jp/~dr.kbt/